

つくばセンタービル働く人を支援する場

事業概要について

つくばセンタービル働く人を支援する場の事業について、ファンドより資金調達の承認を頂いたことから、資金計画を報告するとともに、事業の詳細についても新たに調整した事項があることから、特別委員会に報告します。



資金計画と資金調達について



働く人を支援する場の事業の実施に必要な資金について

◆働く人を支援する場の事業に要する費用

事業費の総額 476,740千円（税込み） (①)

- ・工事費 : 352,000千円（税込み）
- ・什器備品費 : 22,000千円（税込み）
- ・設計費 : 21,560千円（税込み）
- ・解体費 : 81,180千円（税込み）

※4階現吾妻交流センター箇所の費用を含む

※費用の拠出は、一度に行うのではなく、工事等の進捗に応じ2021年～24年に分割して拠出する

◆既に拠出している費用

事業実施に要する費用のうち、解体や当該区画の市からの賃借料については、一部を既に拠出している。

○既に拠出している費用 ⇒ 55,859千円 (②)

(内訳)

- ・解体費の一部 : 54,384千円
- ・つくば市への賃借料（10月～12月分） : 1,475千円

◆今後必要な費用と資金の調達方法

○今後事業の実施に必要な資金

今後必要となる資金は「働く人を支援する場の事業に要する費用」から「既に拠出している費用」である。

・今後必要な費用 ⇒ 420,881千円 (③ = ① - ②)

○資金の調達方法

上記資金は以下により調達する。

- ・自己資金（当社の現預金の一部） ⇒ 104,881千円
- ・新たな資金調達 ⇒ 316,000千円

※当社の自己資金の現状

現預金残高	: 43,422千円
(21.12.1)	
解体負担金	: 77,220千円
(今後入金予定)	
計	: 120,642千円

※2022年度からは当該事業による賃料収入等が入る



◆新たな資金調達先について

新たな資金調達（316,000千円）について国土交通省の制度である「老朽ストック活用リノベーション等推進型まちづくりファンド」を活用し、当該業務を行う以下のファンドより資金調達する。

調達先：「アセットリノベーション投資事業有限責任組合」

調達の状況：12月16日にファンドの投資委員会において当社が発行予定の社債を引き受けることが承認された。

◆ファンドの概要について（ファンドの資料から掲載）

アセットリノベーションファンド（以下アセットリノベーションF）は、一般財団法人民間都市開発推進機構及び地域金融機関と連携し、老朽ストックを活用した地域活性化・地域創生を目指すファンド。全国各地にて空き家・空き店舗、老朽建物が増加している中、施設のリノベーション促進を支援する。

ファンド名	アセットリノベーション投資事業有限責任組合
ファンド形態	投資事業有限責任組合（LPS）
設立日	2021年12月16日
ファンド運営	㈱OHANAPANA ※NECキャピタルソリューション株式会社の100%出資会社

アセットリノベーションファンドの概要

【支援事業概要】

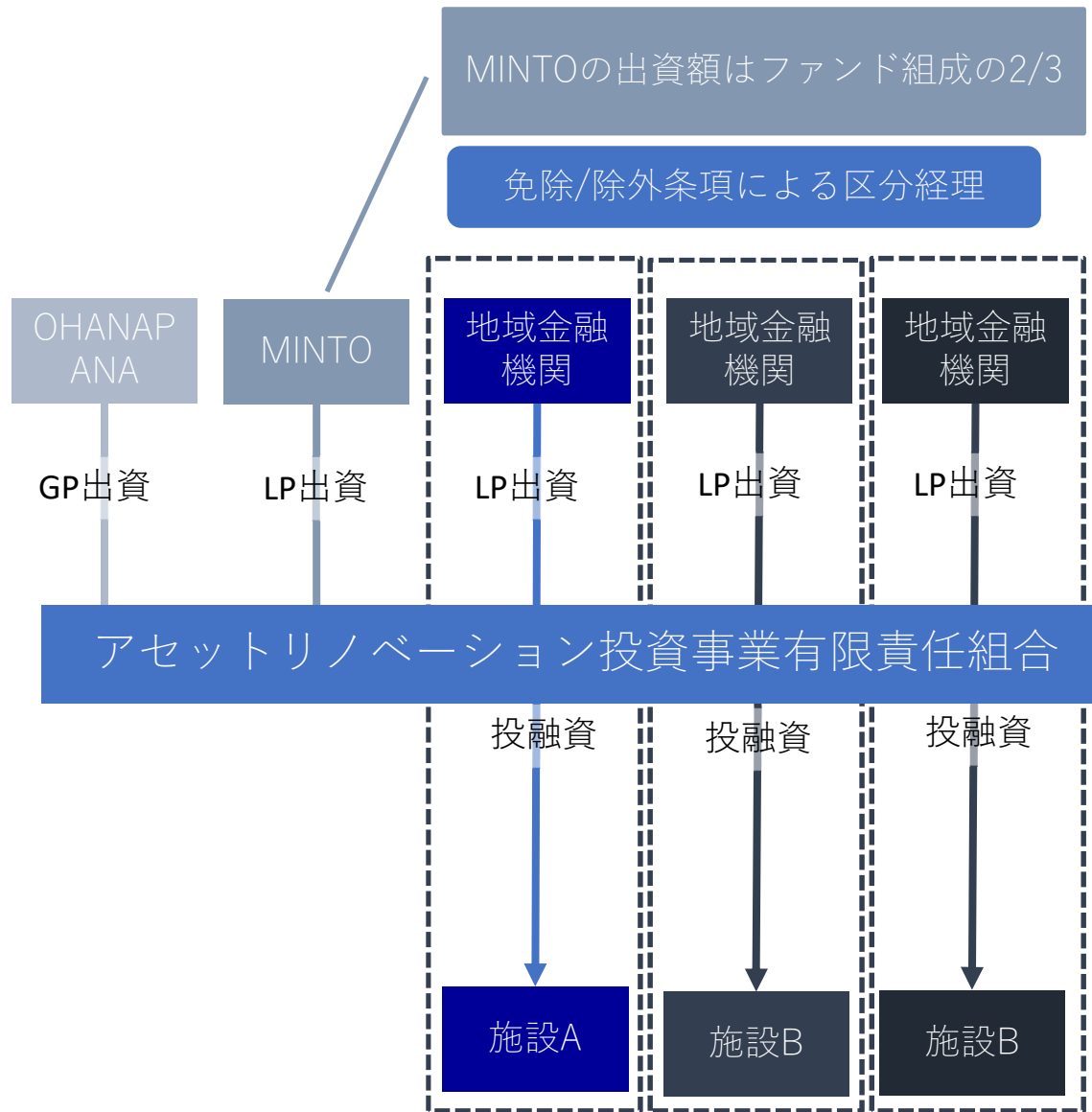
「老朽ストック活用リノベーション等推進型まちづくりファンド支援事業」は、ポストコロナに向けた職住が近接・一体となった柔軟な働き方や暮らしやすさに対応したまちづくりを日本全国で実現することを目的に創設された事業。

【支援対象となることの要件】

築20年以上のストックを活用してテレワーク拠点等（サテライトオフィス・シェアオフィス・コワーキングスペース・ワーケーション施設等）、またはグリーン・オープンスペースの整備を含む、リノベーション、建替え事業に対し、出資等による金融支援を行う。

- ▶ 「老朽化ストック活用リノベーション等推進型まちづくりファンド事業（国土交通省2020年度補正予算）」を活用して新たに立ち上げるファンド
- ▶ 一般財団法人民間都市開発推進機構、地域金融機関等が出資したファンドを組成し、老朽化ストック（築20年以上の施設等）を活用して、コワーキングスペース、サテライトオフィス等を整備する事業に対して投融資を行う
- ▶ 「つくばセンタービル働く人を支援する場事業」は、**本ファンドからの投融資の第1号案件**となる

【アセットリノベーションFのスキーム】



◆当案件へのファンドの投資条件



ファンドから以下の条件で資金調達を行う。

・投資形態

ファンドによる劣後社債の引受（劣後社債：普通社債と比較して返済の優先順位の低い社債）

・調達額

316,000千円

・レート

年利3%

・投資期間

10年（ファンドの制度上の期間）

・償還計画

単位：千円

年度	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
元本返済額	0	0	5,000	20,000	25,000	30,000	30,000	30,000	30,000	146,000

・投資期間後について

オフィス等の収支には一定のストレスをかけて計画策定しているため、ファンドからの運営の助言を受けながらよい一層の収入増加を図り、早期償還を目指していく。なお、償還期限に残債が残った場合には、地域金融機関からの再調達を行う。

※ファンド運営業者の親会社は全国展開の貸会議室・イベントスペース・コワーキングスペース・レンタルオフィス運営企業やコワーキング・ワーケーション事業者等と連携や出資をしており、一定の運営のノウハウを有する。

・ファンドとの調整の経緯

2021年5月 民都機構において「老朽ストック活用リノベーション等推進型まちづくりファンド」のファンド運営事業者の募集を開始。
9月 ファンド運営予定者と民都機構、常陽銀行と詳細協議、事業計画への審査等を開始
12月16日 ファンドが設立
ファンドの投資委員会により当社案件への投資を承認

事業収支計画について

本事業の事業収支を示す。



◆前提条件

面積

コワーキングスペース	128坪
シェアオフィス	330坪
カフェ	64坪
その他	241坪
※4階の現交流センター部分も含む (330坪中、122坪は4階)	

収入

以下の想定で収入を計算している。

- ・コワーキングスペース
会費及び会議室等利用料（会費：個人16,000円/月、法人60,000円/月）
※会費は収支上の数値であり、実際は変更となる可能性がある
- ・オフィス
賃料収入（賃料：月13,000円/坪、空室率15%で想定）

工事費

○設計費	全体設計	10,000千円（税抜き）	（設計者：納谷建築設計事務所）
	カフェ部分内装設計	2,600千円（税抜き）	（設計者：株式会社andHAND建築設計事務所）
	全体ディレクション	7,000千円（税抜き）	（受託者：Japan.asset management 株式会社）

○改装費 320,000千円（税抜き）（施工者：株式会社コスモスモア）

※工事費は什器や備品等の材料等により若干の変更の可能性がある。

運営費

- 運営費は以下の項目が含まれる
- ・ビルメンテナンスコスト（清掃や設備点検等）
 - ・光熱水費（コワーキングスペース、共用部のみ、オフィスは入居者が負担）
 - ・当該区画の賃料
 - ・人件費
 - ・事務所経費
 - ・販促費
 - ・業務委託費
 - ・管理システム費
 - ・保険料

◆働く人を支援する場の事業収支

単位：円



PL		2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月	2027年3月	2028年3月	2029年3月	2030年3月	2031年3月	2032年3月
売上高	シェアオフィス	-	30,268,920	30,268,920	43,741,440	43,741,440	43,741,440	43,741,440	43,741,440	43,741,440	43,741,440	43,741,440
	カフェ収入	-	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
	コワーキング収入	-	24,902,000	30,830,400	42,480,000	47,445,000	50,730,000	50,796,000	50,730,000	50,730,000	50,730,000	50,796,000
売上高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	-	56,370,920	62,299,320	87,421,440	92,386,440	95,671,440	95,737,440	95,671,440	95,671,440	95,671,440	95,737,440
粗利益	-	-	56,370,920	62,299,320	87,421,440	92,386,440	95,671,440	95,737,440	95,671,440	95,671,440	95,671,440	95,737,440
経費	運営費	1,340,229	43,409,645	43,409,645	45,719,645	50,219,645	50,219,645	50,219,645	50,219,645	50,219,645	50,219,645	50,219,645
	修繕費用	-	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000
	減価償却	-	23,633,820	24,198,701	25,555,844	25,555,844	25,555,844	25,555,844	25,555,844	25,555,844	25,555,844	25,555,844
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	1,340,229	69,323,465	69,888,346	73,555,489	78,055,489	78,055,489	78,055,489	78,055,489	78,055,489	78,055,489	78,055,489
営業利益		△1,340,229	△12,952,545	△7,589,026	13,865,951	14,330,951	17,615,951	17,681,951	17,615,951	17,615,951	17,615,951	17,681,951
営業外収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営業外費用	922,824	9,480,000	9,480,000	9,442,500	9,180,000	8,542,500	7,755,000	6,855,000	5,955,000	5,055,000	4,023,002	
経常利益		△2,263,053	△22,432,545	△17,069,026	4,423,451	5,150,951	9,073,451	9,926,951	10,760,951	11,660,951	12,560,951	13,658,949
税引前当期純利益		△2,263,053	△22,432,545	△17,069,026	4,423,451	5,150,951	9,073,451	9,926,951	10,760,951	11,660,951	12,560,951	13,658,949
法人税等	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	3,326,605	4,468,406	4,845,020
当期純利益		△2,423,053	△22,592,545	△17,229,026	4,263,451	4,990,951	8,913,451	9,766,951	10,600,951	8,334,346	8,092,545	8,813,930
累積利益		△2,263,053	△24,695,598	△41,764,624	△37,341,173	△32,190,221	△23,116,770	△13,189,819	△2,428,867	9,232,084	21,793,035	35,451,985
CF		2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月	2027年3月	2028年3月	2029年3月	2030年3月	2031年3月	2032年3月
営業CF	税引前当期純利益	△2,263,053	△22,432,545	△17,069,026	4,423,451	5,150,951	9,073,451	9,926,951	10,760,951	11,660,951	12,560,951	13,658,949
	減価償却費	-	23,633,820	24,198,701	25,555,844	25,555,844	25,555,844	25,555,844	25,555,844	25,555,844	25,555,844	25,555,844
	売上債権の増減額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	其他流動資産の増減額	-	△37,659,181	35,005,181	△204,000	△250,000	-	-	-	-	-	-
	其他流動負債の増減額	-	5,637,092	△1,483,804	1,673,208	330,700	218,700	6,600	△6,600	-	-	6,600
	其他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	△2,263,053	△30,820,814	40,651,052	31,448,503	30,787,495	34,847,995	35,489,395	36,310,195	37,216,795	38,116,795	39,221,393
	法人税等の支払額	△160,000	△160,000	△160,000	△160,000	△160,000	△160,000	△160,000	△160,000	△3,326,605	△4,468,406	△4,845,020
	其他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業CF計	△2,423,053	△30,980,814	40,491,052	31,288,503	30,627,495	34,687,995	35,329,395	36,150,195	33,890,191	33,648,389	34,376,374
投資CF	有形固定資産の取得による支出	△272,470,000	△66,511,818	△20,700,000	1,900,000	△0	△0	△0	△0	△0	△0	△0
	無形固定資産の取得による支出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	投資其他の資産の取得による支出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	其他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	投資CF計	△272,470,000	△66,511,818	△20,700,000	1,900,000	△0	△0	△0	△0	△0	△0	△0
財務CF	借入れ・返済	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	146,000,000
	社債発行・償還	316,000,000	-	-	△5,000,000	△20,000,000	△25,000,000	△30,000,000	△30,000,000	△30,000,000	△30,000,000	△146,000,000
	株式の発行	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	其他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	財務CF計	316,000,000	-	-	△5,000,000	△20,000,000	△25,000,000	△30,000,000	△30,000,000	△30,000,000	△30,000,000	-
	現金及び現金同等物の増減額	41,106,947	△97,492,632	19,791,052	28,188,503	10,627,495	9,687,995	5,329,395	6,150,195	3,890,191	3,648,389	34,376,374
	現金及び現金同等物期首残高	105,992,589	147,099,536	49,606,904	69,397,957	97,586,460	108,213,956	117,901,951	123,231,346	129,381,542	133,271,733	136,920,122
	現金及び現金同等物期末残高	147,099,536	49,606,904	69,397,957	97,586,460	108,213,956	117,901,951	123,231,346	129,381,542	133,271,733	136,920,122	171,296,496

働く人を支援する場のコンセプト



「これからのチャレンジを応援する場づくりと、
センター地区の賑わいのハブを目指す。」

様々なワークスペースにより
自分らしいワークスタイルを実践できる



子連れで一緒に働ける



市民活動拠点を利用する人と働く場を利用する人がつながり、
新たなコミュニティやアイデアが生まれる



つくばセンターエリアを訪れる
みんなの憩いの場（カフェ等の併設）



コワーキングスペース (会員制、ドロップイン)

○仕事ができるスペース

集中して仕事できるブースや、テレビ会議ができるブース、ミーティングができるスペース

○交流ができるスペース

数人で意見交換をしながら仕事をしたり、交流したり、話しながら作業などをするスペース

○子連れで働けるスペース

子どもを連れてきて、親が子どもと一緒に仕事ができるスペース

○会議スペース

会議やイベント等ができる区切られた会議室

○イベントスペース

多様なイベントが行われる場
※交流スペースと共用



カフェ、シェアキッチン

○カフェ (朝から夜まで営業を予定)

- ・誰でも利用できるカフェ
(朝及び昼はカフェ、夜はバー等、メニュー等は決定次第HP等で周知)

○シェアキッチン、チャレンジショップ

- ・新規で飲食や物販等を始めたい人やアンテナショップ等に使えるシェアキッチンやチャレンジショップ

シェアオフィス (貸しオフィス)

○シェアオフィス

スタートアップ企業や地域の事業者などを中心としたオフィス

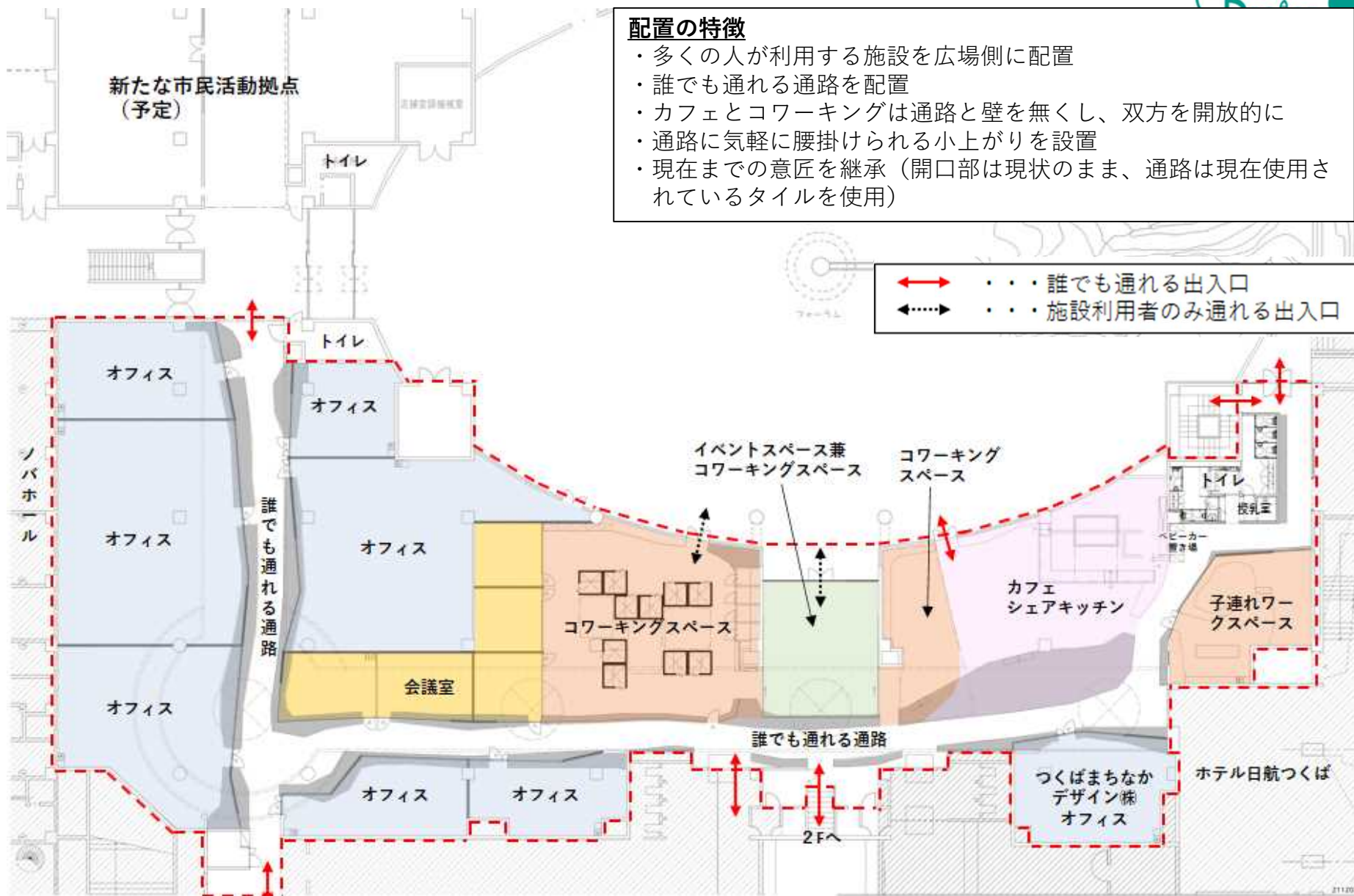
配置

※詳細は変更となる可能性がある。



配置の特徴

- ・多くの人が利用する施設を広場側に配置
- ・誰でも通れる通路を配置
- ・カフェとコワーキングは通路と壁を無くし、双方を開放的に
- ・通路に気軽に腰掛けられる小上がりを設置
- ・現在までの意匠を継承（開口部は現状のまま、通路は現在使用されているタイルを使用）



※4階吾妻交流センターが新たな市民活動拠点に移転後に跡地も当該施設となる前提で計画をしている。現時点では設計していないことから図面は示していない。

イメージパース



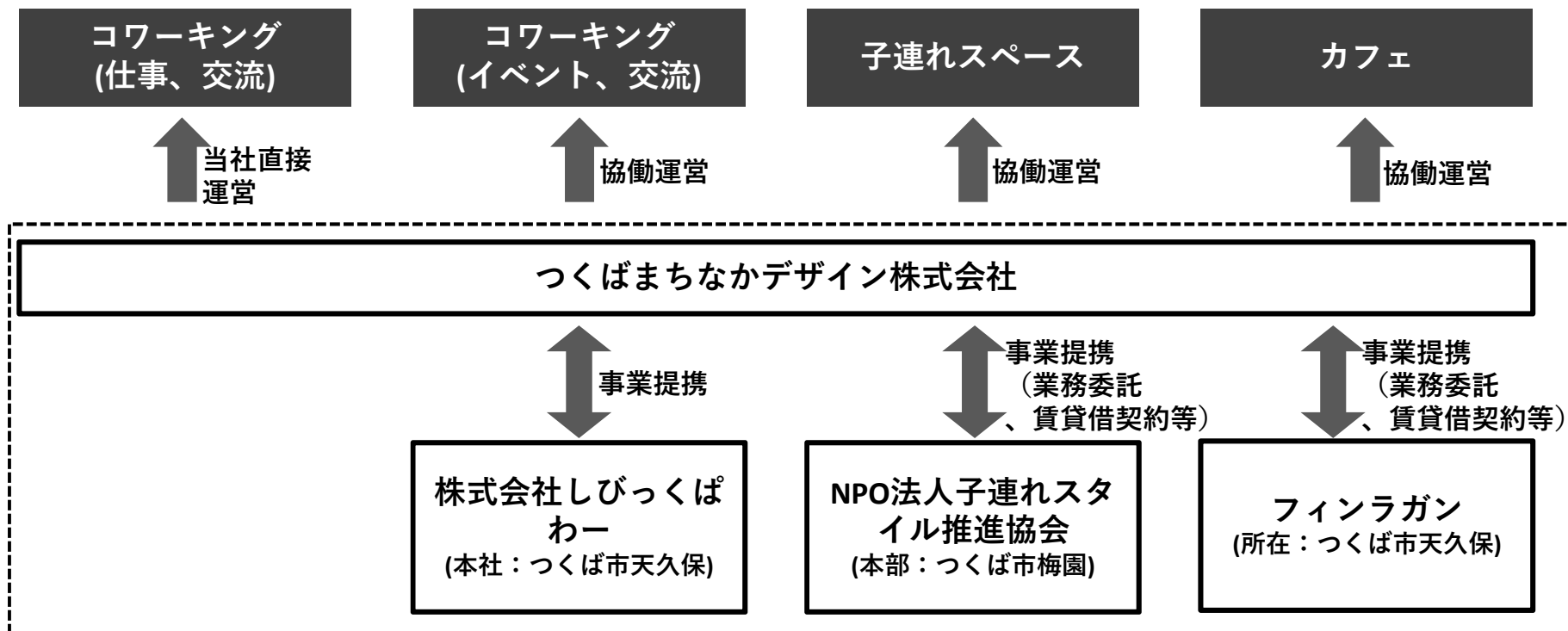
イメージとして作成していることから、詳細な配置や材料、色合い等の詳細は実際と異なる可能性がある。



連携事業者について



各施設の運営にあたっては、地域の事業者と連携しながら事業を実施する予定



※各コンテンツの詳細については、現在事業提携する事業者と協議していることから、決まり次第、ホームページ等に掲載します。

コワーキングスペースについて



特徴

- ①つくばで活動する様々な人とつながり、新たなコミュニティが生まれる
- ②つくばで新たに活動しようとしている人を支え、多くのコトが生まれる
- ③多様な働き方を支える場や設備があり、人それぞれの働き方ができる

利用形態（案）

◆利用種別

利用の方法については、現在検討しているが、以下の2つの利用を想定している。

- ①月額会員の利用 : 毎月利用料をお支払い頂き、自由に利用できる会員
- ②ドロップイン会員の利用 : 利用した分のみ費用が発生する会員（一部利用できない箇所がある）

◆利用できる時間

- ①月額会員は24時間365日利用可能
- ②ドロップイン会員は、利用日時に制限あり

◆料金

詳細な料金形態は現在検討していることから、決まり次第ホームページ等で公表する。

◆その他

隣接するカフェやホテルと連携したプラン等を提供する予定（現在調整中のため詳細は決定次第当社HPに掲載）

会員登録の開始

2月頃から会員等の申し込みを開始する予定。

概要

集中して仕事や作業をするスペース

リモートワークや移動の合間の時間での仕事など多様な働き方を支える、比較的な静かなエリアで仕事や勉強などを集中してできるスペース

- ・テレビ会議等ができる防音ブース（4室）
- ・個別ブース（10席）
- ・カウンターデスク（5席）
- ・個別テーブル（6席程度）
- ・ミーティングテーブル（3箇所、1か所6席）
- ・共用設備（宅配ロッカー、個人ロッカー、備品貸出等等）

交流ができるスペース

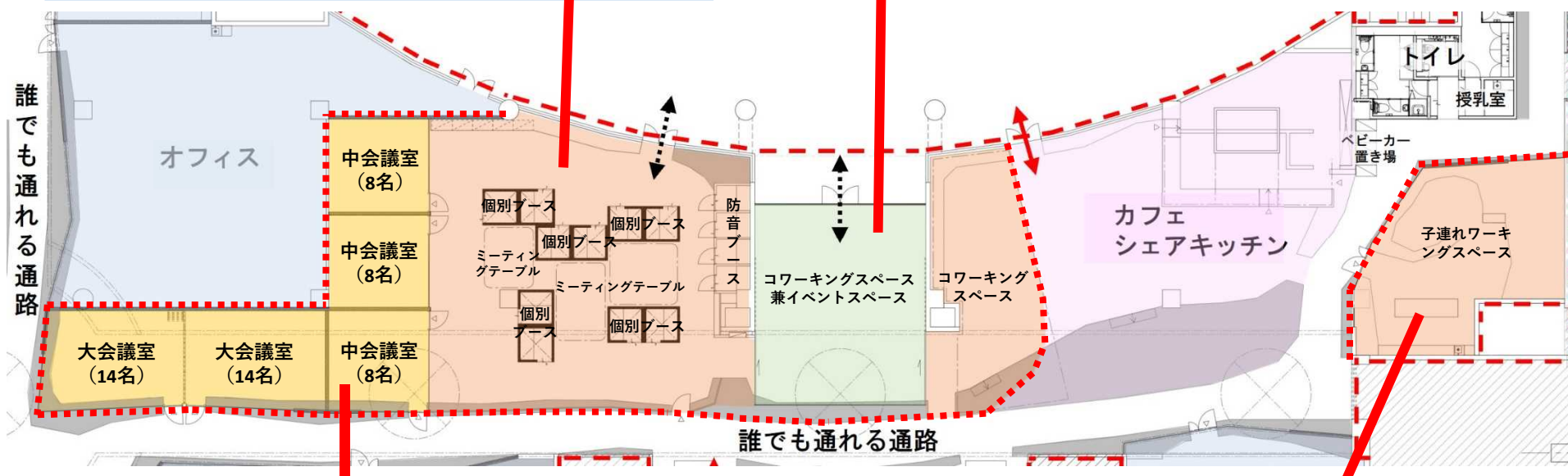
数人で意見交換をしながら仕事をしたり、交流したり、話しながら作業などをするスペース

- ・大テーブル（6人掛けが5テーブル）

イベントスペース

多くの人の交流が生まれるイベントやセンター広場と一体となったイベントなど、多様なイベントが行われる場

※交流ができる場と共用



会議スペース

会議やイベントなどができる個室の会議室

- ・中会議室（8名程度、3室）
- ・大会議室（14名程度、2室）

※大会議室は2つを1つにつなげることが可能、オンライン会議などができるような設備を設置イベント等でも利用可能 等

子連れで働けるスペース

子どもを保育所などに預けなくても一緒に働けるスタイルを提案する、親が子どもと一緒に仕事ができるスペース

- ・大人8名、こども8名が滞在できる空間

シェアオフィスの入居について



シェアオフィスについては、現在までに多くのお問い合わせを頂いているが、本日から入居者の募集を開始予定。

特徴

単なる貸しオフィスではなく、つくばで活動している企業等を支え、つくばで働ける場所を創るとともに、入居している企業同士の横のつながるを創る

オフィスの募集について

◆入居の条件

賃料（共益費込み）	月13,000円/坪
コワーキング利用料（必ず必要）	月2,000円/坪
敷金	2か月分
礼金	なし
入居時期	2022年4月上旬を予定
その他	光熱水費、ごみ処理費は入居者が負担 入居者用の宅配ロッカーを設置予定 コワーキング、会議室の利用可 カフェやホテル等の連携を実施予定（詳細は現在調整中）

◆募集期間

本日2021年12月17日から当社ホームページで申し込みを開始予定。

※事前に入居希望の問い合わせは多く頂いているが、今回、正式に事業に着手することから募集する。

詳細は当社ホームページをご確認ください。

今後の改修スケジュール



2021年度				2022年度			2023年度	2024年度
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6～3月		
■	新設工事			■			■	■
新設 工事 着手 (12/20)				コワーキング カフェオープン (4月下旬頃を予定)			4F部分 新設工事 (予定)	オープン
			■					
			オフィス引き渡し予定 (4月上旬予定)					

※現在、コロナの影響等により、資材の調達が困難になっていることから、早急に工事に着手する。

今後の当社の事業展開について



当社はまちのプレーヤー及び調整役として、つくば駅周辺の魅力を高めるために必要な取組みに取り組んでいる。働く人を支援する場の事業以外においても積極的に事業展開を図る。

当社の事業収支及び今後の見通し

◆当社上半期の収支状況

21年度上半期は、今後の事業実施に向けた準備期間であることから、今後の事業実施に向けた検討を行った。収入としては6月から運営を開始した地下駐車場の売上及びつくばエキスポセンターカフェの収入が主である。

参考資料（22ページ）：当社上半期の財務諸表

◆当社今後の見通し

- 今後の収支等の見通しについては、働く人を支援する場の収支が、当社の全収支に占める割合として大きいことから、当該事業の事業収支（P7）による影響が大きい。
- 働く人を支援する場は、2022年4月にオープンすることから、事業収支計画を着実に達成できるよう取り組んでいく。
- 既存事業については、地下駐車場の利便性及び収益性の双方を高めるほか、つくばエキスポセンターカフェの更なる魅力向上に取り組む。
- 今後は、事業者の支援等のコンサルティング業務など、新たな事業を積極的に取り組むことにより、安定かつ積極的な事業展開ができるような基盤を整える。

事業方針

当社のビジョンである「自分のものさしで多様なライフスタイルが選択できる新たなまちを創る」を実現するために、必要な取組みを積極的に実施する。

◆事業実施に向けた考え方

- ①地域で活動している者と競合するのではなく、相乗効果を生む取組みを実施する。
- ②自らプレーヤーになるだけでなく、地域で活動している人をつなげることで取組みを生み出す。

現在までに取り組んできた事業

1. まちの拠点「駐車場」の運営

まちに訪れる最初の拠点である駐車場を、まちの拠点としてとらえ、まちなかや周辺地区に回遊させる

特徴

- ①まちに気軽に訪れやすくするため、最初の1時間を無料化するとともに料金体系を見直し
- ②駐車場から各施設への移動を補完するモビリティを導入（現在検討中）
- ③駅周辺から周辺地区に人が回遊するためのモビリティを導入（12月よりカーシェアを導入）

2. 地産地消ロボットカフェ（つくばエキスポセンター）

中央公園やつくばエキスポセンターを科学や自然を遊びながら体験できるこどもの拠点の創出に向け、つくばエキスポセンター内に本物の食と科学を体感できるカフェをオープン

特徴

- ①地産地消（地域の食をふんだんに使用した本物の料理）
- ②科学を体験（科学を見るだけでなく実際に体験）
（新たな技術を社会実装するための場）



3. つくばの魅力高める事業者支援

①つくば駅周辺の魅力あるマンション開発に向けた支援

つくば駅近接で建設されているマンション及びその隣接する公園に対し、まちの魅力を高めるためのコンサルティングを実施（21.9.16につくば市、総合地所、近鉄不動産及び当社で覚書を締結）

4. 情報発信

つくばのまちなかの情報を発信

①つくばまちなか情報局の開設（facebook、instagram）

まちなかの出来事をリアルタイムに発信

②つくまちnoteの発信

つくばの豆知識や過ごし方などをコラムとして発信。

第1回、2回は公園をテーマに市民のインタビューを掲載



5. ここだけの体験づくり（パブリックスペース等を活用した取組み）

広場や公園などのパブリックスペースで、つくばならではの体験やイベント等を実施



具体的取組

①梅雨空アート（2021年5月）

梅雨のセンター広場を彩るためセンター広場にアンブレラスカイや筑波大学と連携した石のアートを展示

②つくまちアート

科学とアートの融合を目指したつくまちアートを開始。
第一弾としてNIMSと連携したマナノアート展を開催

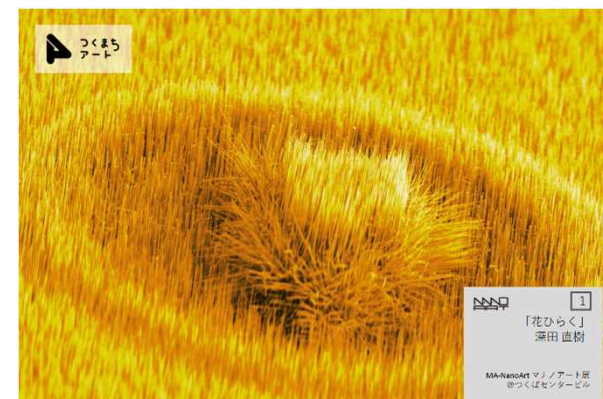


③ごみ拾い大作戦（毎週火曜日の朝8時から）

つくば駅周辺の美化活動や働いている人の交流を目的につくばセンタービル等に働いている方が参加するごみ拾いを実施中

④ソトカフェの魅力づくり

市とセンター地区活性化協議会が実施しているソトカフェに協力し、テーブルやいすの管理やみんなの本棚の拡充等の取組みを実施



⑤つくばペデカフェプロジェクトへの支援

市が実施しているつくばペデカフェプロジェクトの実施者に対し、様々な支援を実施（一部の区画を当社が担う等）

⑥発電ブランコの設置による科学体験の実施

トナリエと連携し、クレオ棟入口にスマホ等を充電できる発電ブランコを設置し、発電の仕組みを学びながら遊べる場を創出



今後取り組む主な事業



つくば駅周辺の魅力を高めるため、今後も様々な事業を積極的に展開していく。

1. 子どもが科学や自然を遊びながら体験できる場の創出

中央公園やエキスポセンターで子どもが豊かな自然や本物の科学を体験できる拠点の創出に向け、つくばエキスポセンター等と意見交換を実施している。

2. 多様な住まい方できる場の整備

多様なライフスタイルができるよう、賃貸住宅やシェアハウス、サービスアパートメントなど、様々な住まい方ができるような多様な住居の提供を検討している。

3. 情報発信の拡大

つくばのまちなかの情報がすべて集まり、ほしい情報がすぐに手に入る情報発信を実施する。現在手法等について検討している。合わせてつくば駅周辺における無料Wifiの設置も検討している。

4. 地域の魅力を高めるための支援

つくばならではの魅力を付加した取組みに向けた支援業務を拡大する。直近においても多くの事業者から当社に支援の依頼を頂いている。公表できる段階になり次第、当社ホームページ等で公表する。

5. ここだけの体験づくり（パブリックスペース等を活用した取組み）

広場や公園などのパブリックスペースで、つくばならではの体験やイベント等を更に実施。その一つとして、オランダのアーティスト「テオヤンセン」のアート企画を検討している。

※参考 当社上半期（4～9月）の貸借対照表及び損益計算書



貸借対照表

(決算仕訳を含む)
2021年04月～2021年09月

損益計算書

(決算仕訳を含む)
2021年04月～2021年09月

勘定科目／補助科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比
現金	0	268,239	234,724	33,515	0.0
普通預金	0	243,977,388	138,018,314	105,959,074	96.1
[流動性現預金]	0	244,245,627	138,253,038	105,992,589	96.2
[現金及び預金]	0	244,245,627	138,253,038	105,992,589	96.2
売掛金	0	419,108	320,545	98,563	0.1
[売上債権]	0	419,108	320,545	98,563	0.1
[当座資産]	0	244,664,735	138,573,583	106,091,152	96.3
前払費用	0	1,570,045	1,287,455	282,590	0.3
立替金	0	725,570	725,570	0	0.0
仮払金	0	854,400	0	854,400	0.8
仮払消費税	0	884,691	0	884,691	0.8
その他の流動資産	0	7,351,680	7,351,680	0	0.0
[他流動資産]	0	11,386,386	9,364,705	2,021,681	1.8
【流動資産】	0	256,051,121	147,938,288	108,112,833	98.1
敷金	0	731,400	0	731,400	0.7
[投資その他の資産]	0	731,400	0	731,400	0.7
【固定資産】	0	731,400	0	731,400	0.7
創業費	0	1,366,042	0	1,366,042	1.2
開業費	0	14,003	0	14,003	0.0
【繰延資産】	0	1,380,045	0	1,380,045	1.3
【資産の部】	0	258,162,566	147,938,288	110,224,278	100.0
未払費用	0	1,485,652	2,284,874	799,222	0.7
前受金	0	0	552,800	552,800	0.5
預り金	0	402,969	469,403	66,434	0.1
仮受金	0	0	10,000	10,000	0.0
仮受消費税	0	3,636	307,395	303,759	0.3
【流動負債】	0	1,892,257	3,624,472	1,732,215	1.6
【負債の部】	0	1,892,257	3,624,472	1,732,215	1.6
資本金	0	0	121,000,000	121,000,000	109.8
【資本金】	0	0	121,000,000	121,000,000	109.8
当期純利益	0	16,438,207	3,930,270	-12,507,937	-11.3
[その他利益剰余金]	0	16,438,207	3,930,270	-12,507,937	-11.3
【利益剰余金】	0	16,438,207	3,930,270	-12,507,937	-11.3
【株主資本】	0	16,438,207	124,930,270	108,492,063	98.4
【純資産の部】	0	16,438,207	124,930,270	108,492,063	98.4
【負債・純資産の部】	0	18,330,464	128,554,742	110,224,278	100.0

勘定科目／補助科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	対売上
売上高(月額駐車場)	0	36,364	1,901,095	1,864,731	61.4
売上高(一時駐車場)	0	0	839,910	839,910	27.7
売上高	0	0	333,008	333,008	11.0
[売上高]	0	0	3,037,649	3,037,649	100.0
【売上総利益】	0	0	3,037,649	3,037,649	100.0
役員報酬	0	4,779,000	0	4,779,000	157.3
販売員給与	0	2,130,000	0	2,130,000	70.1
法定福利費	0	1,914,109	855,935	1,058,174	34.8
福利厚生費	0	60,196	6	60,190	2.0
[人件費]	0	8,027,364	0	8,027,364	264.3
旅費交通費	0	89,828	0	89,828	3.0
広告宣伝費	0	471,019	0	471,019	15.5
業務委託料	0	1,215,385	0	1,215,385	40.0
リース料	0	851,500	0	851,500	28.0
地代家賃	0	1,439,555	0	1,439,555	47.4
修繕費	0	717,200	0	717,200	23.6
事務用消耗品費	0	106,233	0	106,233	3.5
通信交通費	0	139,046	0	139,046	4.6
水道光熱費	0	653,529	0	653,529	21.5
支払手数料	0	52,200	0	52,200	1.7
租税公課	0	4,000	0	4,000	0.1
接待交際費	0	11,425	0	11,425	0.4
支払保険料	0	5,000	0	5,000	0.2
備品・消耗品費	0	1,263,968	0	1,263,968	41.6
管理諸費	0	498,650	0	498,650	16.4
[一般管理費]	0	7,518,538	0	7,518,538	247.5
[販売費及び一般管理費]	0	15,545,902	0	15,545,902	511.8
【営業損益】	0	0	-12,508,253	-12,508,253	-411.8
受取利息	0	0	316	316	0.0
[営業外収益]	0	0	316	316	0.0
【営業外損益】	0	0	316	316	0.0
【経常損益】	0	0	-12,507,937	-12,507,937	-411.8
【税引前当期純利益】	0	0	-12,507,937	-12,507,937	-411.8
【当期純利益】	0	0	-12,507,937	-12,507,937	-411.8